



平成 26 年 04 月 18 日

各 位

上場会社名 株式会社寺岡製作所
代表者名 代表取締役社長 寺岡 敬之郎
(コード番号 4987 東証第二部)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 内藤 雅和
(TEL 03-3491-1141)

業績予想の修正及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期決算において特別損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 10 月 29 日に公表した業績予想を以下の通り修正いたします。

記

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,100	百万円 110	百万円 410	百万円 100	円 銭 3 80
今回修正予想(B)	20,520	△105	580	△930	△35 31
増減額(B-A)	420	△215	170	△1,030	—
増減率(%)	2.1	—	41.5	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	19,935	△92	674	263	9 99

1. 減損損失の計上

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて、茨城工場の一部の高度なクリーン性能や精密加工に対応する、高機能製品を提供する目的で稼働を始めた粘着テープ製造設備に関して、平成 26 年 3 月期決算において連結・個別ともに 13 億 83 百万円の固定資産の減損損失を計上する見込みです。当該設備は、その製造の主要対象であった大型フラットパネルディスプレイ関連分野で、世界的な需要急減や国内メーカーの相次ぐ撤退など、厳しい事業環境が続いております。他製品の製造ラインへの転用や共用できる事業等はあるものの、直ちに稼働の改善を図ることは困難で、今後とも投下資本の回収は難しいことから、対象設備の帳簿価額の全額を減損損失として計上することといたしました。したがって、今回の減損措置は健全な経営体制を維持するとともに、収益基盤の強化を図る為のものであり、翌期以降につきましては、安定的な利益の計上を見込んでおります。

2. 業績予想修正の理由

売上高は、産業用テープが建設業向けを中心に堅調に推移し、前回発表予想を上回ったものの、平成 24 年 10 月より稼働させたインドネシア生産子会社の、生産増強のための費用が先行しております。また、円安による為替差益の発生があったものの、上述の減損損失もあり、営業利益、当期純利益が平成 25 年 10 月 29 日公表の通期業績予想数値を下回る見通しとなりました。このため、前回の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上